



東京都地域公益活動推進協議会 事業開発委員会 主催 テーマ別研修会

「滞在」がひらく福祉の可能性 ～高校生が福祉施設に滞在するツアーの取組みから～

1. 趣 旨

東京都地域公益活動推進協議会では、社会福祉法人の地域における公益的な取組みを推進するために、毎年さまざまなテーマ（居住支援、ひきこもり支援、災害支援等）で研修会を開催してきました。

今年度のテーマ別研修会では、昨年度から東社協（総務部企画担当）が中心となって実施しております「福祉施設での滞在ツアー」の実施報告を行います。本企画は、高校生が福祉施設で“ただ、そこにいる”という滞在の時間の過ごし、自己と向き合い、その過程で自分以外の他者や福祉について見つめなおす機会を提供しています。

地域共生社会を目指す社会福祉法人にとって、次世代を担う高校生などの若い世代に、福祉施設をひらき新たな可能性を見出していくことは、きっと有益な体験となることと思います。

今回の研修会では、今年度を実施された滞在ツアーの実施報告や、この企画にかかわったメンバーによるトークセッションを受け、各グループに分かれてのグループワークを行います。当会としても、参加者の皆様とともに、「滞在」を通じて福祉施設をひらいていくことの意義について考えたいと思っています。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

【福祉施設に滞在するツアーについての詳細は下記リンクよりご確認ください】

[（東社協ホームページ 福祉施設に滞在する BeingThinkingTour2025 やります！）](#)

2. 開催日時 2026 年 3 月 6 日（金）14 時 30 分～17 時 00 分（14 時より受付開始）

3. 会 場 飯田橋セントラルプラザ 東社協会議室



〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸 1-1

セントラルプラザ 12 階

JR 中央・総武線 飯田橋駅

西口より徒歩 2 分、東口より徒歩 4 分

4. 参加対象 東京都地域公益活動推進協議会会員法人の役員・管理職・職員、区市町村社会福祉協議会、区市町村行政職員、地域福祉等に関心のある学生（定員 60 名ほど）

5. 参加費 無料

6. 内容（予定）

第一部 「ただ、そこにいる」を知る

—“滞在”をキーワードに高校生に施設をひらくことで生まれるもの

◎ 滞在ツアー参加メンバーによるトークセッション

登壇者：-小松理度さん/ ヘキレキ舎代表（滞在ツアーin 東久留米コンダクター）

-青木 彬さん/一般社団法人藝と（滞在ツアーin 日野コンダクター）

-加藤 甫さん/写真家（滞在ツアーin 東久留米・日野での滞在を撮影）

-ふくひらプロジェクト Be らぼメンバー

都内高校教諭、区市町村社協職員、受入れ施設等福祉関係者

第二部 「ただ、そこにいる」を考える—“滞在”がひらく福祉の可能性を探る

◎ 各グループによるグループワーク

今年度のツアーコンダクター ※当日ご登壇いただきます

こまつ りけん
小松 理度さん：福島県在住。ライターをしながら、医療や福祉など、人の命や暮らしを支える仕事をしている人たちと共に、まちづくり活動をしている。本研修会のコーディネーターを務めます

あおき あきら
青木 彬さん：京都市在住。現代アートの展覧会やワークショップ、プロジェクトの企画運営をしている。近年は福祉に関わる人と一緒にアートプロジェクトを行うことも多く、2025年には社会福祉士の資格を取得。

7. 申込について

* 下記申込フォームより 2026年3月2日（月）までにお申し込みください。

* 申込フォームの入力が難しい場合は、下記問い合わせまでご一報ください。

「滞在」がひらく福祉の可能性
～高校生が福祉施設に滞在するツアーの取組みから～
[参加申込フォーム](#)

* 上記 URL または右の二次元コードより申込フォームにアクセスしてください



8. 事務連絡先

＜東京都地域公益活動推進協議会 事務局＞
社会福祉法人東京都社会福祉協議会 福祉部 経営支援担当（阿部・保谷）
TEL：03-3268-7192 FAX：03-3268-0635
E-mail：tky-koueki@tcs.w.tvac.or.jp